

防衛大学校本科第14期学生および理工学研究科第5期学生 入校式における学校長式辞（昭和41年4月6日）

本日、三輪事務次官^{注(1)}、杉江統幕議長^{注(2)}をはじめ多数の来賓各位ならびに入校生の父兄の皆様方のご臨席をいただき、ここに本科第14期学生及び研究科第5期学生の入校式を挙行いたしますことは、われわれ関係者一同にとり、まことに欣快に堪えないところであります。

私は、まず新しく入校せられる諸君に対し、栄えある入校のお慶びを申し述べたいと思います。本科の諸君は、全国多数の志願者の中から難かしい試験を経て本日の栄冠をかち得られたのであり、北は北海道、南は鹿児島からはるばるこの小原台に来られました。また研究科の諸君は、部隊長等の推薦を得、さらに学力試験にも合格し、再び研究に専念し得る幸福に恵まれた諸君であります。いずれの諸君も入校の感激を胸に秘め、この風光明媚な小原台上において、今後の数年間を勉学にいそしみ得る幸福をひしひしとその胸に感じておられるものと想像いたします。

研究科の諸君、諸君は平素の実務を離れ、一般大学の大学院学生と同じく今後の2年間をそれぞれの専門分野に従い、高度の科学技術の研究に従事されるのであります。諸君はおのが幸運を思い、その陰には、各自衛隊等における幾多同僚の日夜を分かたぬ努力のあることを忘れてはなりません。私は、諸君が十分自重自愛、研鑽にはげみ、立派な成果をあげられるよう要望いたすものであります。

初めて着用した制服に容儀を正している本科の諸君、諸君の心の奥底には、将来に対する堅い決意と大きな希望があるであらう。また、幾分の危惧と不安があるかも知れませんが、しかし諸君の不安は、諸君の先輩の場合と同じように本校の生活に馴れるに従い、やがて跡かたもなく解消するであらうと考えます。

私は、ここに諸君が自ら将来を托する決意をもって本校を選ばれたことに、賛意と敬意を表すものであります。それは諸君の進まんとする道、すなわち幹部自衛官とし



第2代学校長 大森 寛

注(1) 三輪良雄

注(2) 杉江一三海将

てわが国防を担おうとする道は、わが国家、国民にとりきわめて重要な意義をもち、男子としてやり甲斐があり、貴重な生涯を捧げて、悔いなき道であると確信いたすからであります。国民の幸福も国家繁栄も、国の防衛なくしては求めうるものでなく、わが国の安全と独立は、諸君の双肩にかかっているというも過言ではありません。諸君の努力は、ひいては世界の平和と人類の福祉にも貢献しうるものであります。すなわち諸君の進まんとする道は、人類の理想に通ずるものであるということができると思います。

本校建学の目的は、陸・海・空の幹部自衛官となるべき者の育成にあります。将来の国防を担う幹部自衛官の理想的人間像は、いかにあるべきでありましょうか。それは、国防方針、将来戦の様相、科学技術の進歩、一般国民の思想の動向等と関連して考えなければならぬ問題であります。今試みに、良き幹部自衛官の具備すべき多くの資質を整理してみるならば、大体大きく二つに分類しうるであろうと思っております。

その第1は、立派な社会人たるにふさわしい人格識見と科学的思考力が必要であるということであり、第2は、武力戦を中核とする将来戦に対処しうる特質と識能とをもたなければならないということであります。

これら第1、第2の分類といっても、実は不可分のものでありまして、両者は渾然一体化して一個の人格を形づくるべきものであります。幹部自衛官は、立派な社会人であればならないことは申すまでもありませんが、他の一般社会人との相違は、国防の担い手としての職能上の特色を有するということでもあります。そのため自衛官は、他のいかなる職業に従事する人々と違う特質を備え、特別の知識、技能を持たなければなりません。

私は、社会人としての教養と自衛官に要求せられる特質とを合せ、これを新しい時代の「武人の資質」と言い得ると考えるのであります。この資質の涵養こそ、本校教育が他の大学教育と比較した場合、基本的な相違点であります。かかる幹部自衛官の人間像を目標としての本校教育は、広き現野を開き、科学的な思考力を養い、豊かな人間性をつちかうことに特に留意しつつ実施しておりますが、その特色をあげれば次のとおりであります。

第1は、本校教育は理工学を主とする大学教育であるということであります。第2は、基礎的軍事学および軍事訓練を実施しているということであります。第3は、陸・海・空3自衛隊の幹部となるべき者を統合的に教育する学校であるということであります。以下これらの点についていささか所見を申し述べたいと思っております。

まず大学教育という本質にかんがみ、本校においては真理を探求し、正義を愛し、知性を尊重することを重視し、学生の自主自律に期待し、学生が広くものを見、自由に考える気風を養い、高い教養と正しい判断力を涵養しうることに重点をしております。教科内容としては、人間形成に資するための一般基礎的教養を授けるはもちろん、さらに理工学専門教育を実施する等、大学設置基準に準拠しております。本校は国防の担い

手を育成するという意味において、軍学校という範疇に入るとは思いますが、決して視野の狭い特殊な戦争技術者を養成せんとするの意図をもつものではなく、社会人としても立派な人物であり、同時に良き指揮官たるに必要な人柄と識見との涵養を目的としている大学であります。

次に軍事的教育の問題であります。幹部自衛官としての修練の道は長く、その資質は一朝一夕に養いうるものではありません。したがって本校においては、その基礎的教育を実施しておるに過ぎません。しかし私は、軍事学、各種の訓練、学生隊制度および学生舎における団体生活等を通じ、幹部自衛官として必要な知識、技能を修得せられるのみならず、学生諸君の積極的な努力と相まって、わが国古来から武人としての資質、例えば、国防の担い手として透徹した使命観と高い知性に裏づけられた忠誠、廉恥・真勇・礼節の徳目を次第に身につけるとともに、統率力を養い、規律心、団結心を培い、さらに旺盛なる体力、気力を錬成せらるることを期待しておるものであります。

次に陸・海・空3自衛隊各要員の統合教育の問題であります。これは本校の大きな特色であり、この種の学校として世界にその新例を開いたものといえるのであります。将来戦はますます陸・海・空各戦力の統合的運用を必要とするであろうことを考えますならば、この傾向はさらに強化せられるべきものであります。2年生から陸・海・空別の要員に分かれるとは申しながら、本校における4年間を共に学び一緒に生活する体験が、いかに相互の理解協力を深めるかは計り知れないのでありまして、将来、陸・海・空3自衛隊の統合一体化にきわめて重要であり、わが国防の近代化にとって大きな意義をもつものであることは、多言を要しないのであります。

以上、本校教育の特色についてその概要を申し述べました。新入生の諸君は、本校入校の意義を理解せられたことと考えるのであります。諸君の学ばれるこの小原台は、20万坪の土地を擁し、紺碧の海に囲まれ、東に房総の山々を望み、西の方遙かに富士山を仰ぎ得る絶好の環境に恵まれております。俗塵を絶するこの別天地は、若人の学びの理想郷であります。私は、諸君が若き情熱とエネルギーを十分に発揮して、勉学に訓練に、はたまた各種の校友会活動に没頭し、他日の大成を期せられたいのであります。

われわれは諸君と共に最善をつくし、本日ご臨席の父兄の皆様方のご期待にこたえ、来賓各位ならびに国民の要望にも沿うよう努力いたしたいと存ずる次第であります。

これをもって式辞といたします。